

日野市学校教育基本構想	1
プリティシユヒルズ・コラム	1
ひのっ子ががんばっています・平山中受賞	2
給食費検討委員会報告・文化財探訪等	2



のびようともに・こえよう自分を

「教育のまち 日野」をめざして 日野市学校教育基本構想策定

日野市はこれまで、平成10年11月に策定された日野市教育ビジョン「ひのっ子教育21―基本と先進」のもと、学校教育の充実と改善に向けた取り組みを進めてきました。

しかし、国際化をはじめ、急激な変化が進行する社会状況の中で、子ども達や学校を取り巻く教育環境も大きく変わり、学校教育に求められることも変化してきています。

そこで、日野市教育委員会では、ひのっ子教育の在り方をもう一度見つめ直し、これからの学校教育が向かう方向性を広く

保護者や地域とともに考えていくために、「日野市学校教育基本構想（教育のまち 日野）」を策定いたしました。

日野市の教育目標

日野市の教育目標は、これまでの「ひのっ子教育21―基本と先進」を引き継ぎ、次のとおりとします。

ひのっ子教育―地域に支えられた基本と先進の教育

ひのっ子世界へのびようともに
こえよう自分を

3つの基本方針

日野市の教育目標を実現するために、3つの基本方針を立てました。

- 1 一人ひとりの子どもを大切に、自立に向けて『生きる力』を育みます
- 2 地域に根ざした『特色ある学校』づくりを進めます
- 3 未来を展望しつつ、『時代とともに歩む教育』に取り組みます

教育目標を実現するための11の項目

- 第1項目 確かな学力の向上
- 第2項目 豊かな心の育成

- 第3項目 健やかな体の育成
- 第4項目 時代の要請にこたえる力の育成

- 第5項目 一人ひとりの教育的ニーズにこたえた特別支援教育の推進

- 第6項目 人間形成の基礎を培う幼児教育

- 第7項目 連携を生かした特色ある学校づくり

- 第8項目 子どもの安全確保

- 第9項目 信頼される学校経営と教職員の養成

- 第10項目 安全で快適な学校施設の整備

- 第11項目 ニーズと課題にこたえる教育行政の推進

英語で世界にひらく夢 プリティシユヒルズ中学生国内留学報告

第7回プリティシユヒルズ中学生国内留学は、市内8校の中学校から20名の中学生が代表として参加しました。

12月26日、新白河駅からバスで坂道を登るにつれ、雪は深くなり、門をくぐると白銀の世界の中に中世の英国の町並みが広がっていました。入国審査を受け、いよいよ国内留学の開始。

どつしりとしたロビー、あかあかと燃える暖炉、素晴らしい調度品、大人たちをよそに生徒たちは積極的に建物の中を探索し、外国人スタッフに英語で話しかけていました。

3日間の研修プログラムはゲーム形式のもの、ロールプレイ形式のもの、テーブルマナーやダンスなどさまざまなものでした。どのプログラムにおいても、生徒たちはまじまじと聞いて理解すること、そして自分の意



英語を学ぶ

思を英語で伝えていくことを学びます。間違えることも当たり前。間違いを恐れず、自分の言いたいことをまず、言葉に出してみます。体を動かし活動する中での英会話は、言葉と意味がしっかりと自分の中に残り、何度口に出して使ってみることで英語を話す楽しさにつながりました。

この3日間で生徒たちの英語を聞く力は随分高められたと思います。また、英語の楽しさを知り、もっと英語を話したい、外国の文化や空気を実際に確かめたいと思いを強くしたことでしよう。

今回のプリティシユヒルズ中

学生国内留学の実施に向けて東京日野ロータリークラブをはじめ外国人講師の方そして多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

（教育部）

『考える力』の向上 のために

日野市立小中学校PTA協議会

会長 浜屋 浩



仕事の関係で税務に関する質問を受けることがあります。その時に、ルールの内容は説明できても、「なぜ、そのルールがあるのですか？」と根本的な問題を尋ねられて、答えられないことがあります。自分の思考が浅いことに気がつく瞬間です。

新学習指導要領で重視する思考力や判断力は、「なぜ、そうになっているのだろうか？」という素朴な疑問と、「本当にそれでいいのだろうか？」という疑問の連続で向上するのではないのでしょうか。

「なぜ？」を繰り返して、過去に同じ問題意識を持つて解決しようとした人の思考の跡を理解しようとする必要があると思います。「景気はどうしたら良くなり、所得の少ない人を助けることができるのだろうか？」大切なことは、誰かを批判することでも、理念を強調することでもないはずです。現実を観察し、その原因を考え、「冷静な判断力」と、「暖かい心」を持った人が議論する場が必要でしょう。学校教育や生涯教育の場でそうした場を増やし、議論に参加したいと考えています。

（教育部）

ひのっ子ががんばっています

日野第一中学校

●歯の優良校に選ばれました

平成20年度「東京都学校歯科保健優良校」に日野第一中学校が選ばれました。校医の先生が心配りや歯科衛生士の方による「歯磨き指導」の成果です。

●埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテストで県知事賞―合唱部

1月24日に埼玉県で行われた「埼玉ヴォーカルコンテスト(SVCC)」に参加しました。

金賞受賞は9校という審査結果でしたが、その中で日野一中合唱部は最高位である「埼玉県知事賞」をいただきました。

平成20年8月に行われた「東京都コンクール」金賞に引き続いての快挙となりました。

平成20年度 全国中学生「人権作文コンテスト」東京都大会に4人が受賞

★東京都奨励賞(法務省で授賞式)
・「本当の友達」
日野四中2年大倉優枝さん

★東京都作文委員会賞

・「戦争と生きる権利」
七生中3年坂口茉奈美さん

・「綺麗事」で終わらないように」
日野四中2年阿部香奈美さん

・「胸を張って生きる」
三沢中3年木村みほろさん

都の奨励賞を受けた大倉さんの作文の一部を紹介します。

「本当の友達」

日野四中2年 大倉 優枝

それは、小学三年生の時のことです。私は何に目覚めたのか急に悪口を激しく言うようになり、人に会うとすぐに人の悪口を、別の人に会ってもまた悪口を言ったりと本当に人の

悪口ばかりを口にしていました。表ではにこにこ笑顔を振りまき、そして陰で人の悪いことしか言わない、そんな「重人格」だったと思います。そして私は、次第に人の悪いところばかりを探すようになっていました。そのうち友達の人に対する態度もかわってしまいました。私の「ごきげんをとるかのように笑顔で優しく声をかけてくるようになったのです」。

「私ってもしかして人気者？」と勝手に舞い上がってみんなの私に対する気遣いに気が付きました。

よく、私の母が私に「きれいな花に美しいいちようが寄ってくるように、きれいな心を持った友達がよってくるから、そんなすてきな心を持てる人になりなさい。」

といていました。その頃はよく意味は分からなかったけれど、今はその言葉が頭をはなれない程、印象的な言葉です。

私はこのようにずっと人の悪口を言って、一人の大切な友達親友という存在を失ってしまいました。

一人ぼっちの間はとても辛くて、苦しくてさみしかったけど、その苦しい期間があったお陰で

私が傷つけてしまった人の傷の大きさを感じたり、友達の大切さを感じる事ができました。私はきつと悪口というもので人の人権を侵害していました。

思い返すと、悪口を言って、悪口だけでつながっていた友達は「友達」とは言えなかったのかもしれない。でも、今は、本当に本当の友達といえる存在ができました。それは部活という環境と、私が繰り返してきた過ちに気づかせてくれた友達のお陰です。

だからこれからは、花のような美しい心の持てる純粋な「私」にかわりたいです。(完)

潤徳小学校

★平成20年度「東京都学校歯科保健優良校」として表彰

★全国学校書初中央展で入賞
(日本習字学会主催)

読売新聞社賞



6年 五十君星羅さん
4年 滝瀬真由さん

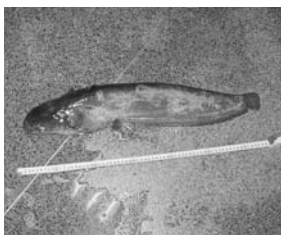
平成20年度 東京都教育委員会 職員表彰受賞

団体の部 平山中学校

平山中学校は、ICTを効果的に活用することを通じて、魅力ある授業づくりを具体化し、生徒一人一人の学習に対する興味・関心を引き出し、集中力を

高める授業実践を積み重ねてきました。また、校務支援システムの積極的な活用により、校務の効率化にも力を注いできました。

このような平山中学校の取り組みが、東京都教育委員会から評価され、この度、団体表彰を受賞しました。(教育部)



巨大ナマズ発見(全長67cm)
飼うことは不可能なので、元の「用水」に戻しました。

巨大ナマズ発見

日野第一小学校正門前の日野用水で全長67cmの巨大「ナマズ」を5年、杉浦靖隆君・高橋純輝君・古見仁志君がつかまえました。「緑と清流課」の話では本市最大級の「ナマズ」とのことです。

他にも「アユ」を4匹つかまえ、多摩川・日野用水の水質が、どんどんよくなっていることを実感しています。

(日野一小 小杉博司校長談)

日野市の文化財探訪 日野の塚めぐり

文化スポーツ課では、平成20年11月29日に「塚つかウォーク」という行事を行いました。これはその名の通り、日野市内に残る塚を巡り歩く行事で、次の四つの塚を訪ねました。

①万願寺一里塚(市史跡)

一里塚は街道に1里(約4km)ごとに築かれた塚です。この塚は慶長9年(1604)に大久保長安の命により築かれ、日本橋から9里目にあたります。甲州道中の道筋は貞享元年(1684)に日野渡船場を渡るように改められたため、街道から離れた場所に残っています。市内にはほかに日野台に一里塚がありましたが、既に取り壊されています。

給食費検討委員会報告

教育委員会では、原油価格等の高騰による食材料価格の上昇を受け、給食費検討委員会を設置し、昨年9月より、給食費について検討を行ってきました。

検討委員会では、「給食を現在の水準で維持・継続していくためには、一食単価を20円程度引き上げる見直しについては必要である。しかしながら社会情勢が急変している現状がある。昨秋からの世界的未曾有な経済不況、景気不安などの影響を加味し、改定時期については、今後の消費者物価の推移や社会情勢を見ながら慎重に判断することが必要と考える。」としています。

給食提供回数が増えます
平成21年度から新学習指導要領への移行措置のため授業時数が増えます。それに伴い給食回数が小学校は年5回、中学校は年2回増えます。

給食費の負担額は、月当たりに換算し、小学校で月100円、中学校で月50円となります。

今年4月より回数増相当分を含め保護者にご負担いただくこととなりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(学校課)

寄贈のお礼と活用

東芝日野工場様より、平山小学校へ、液晶ハイビジョン46型テレビ及びテレビ台を頂きました。

ICT活用教育を推進している日野市では、各学校にICT機器が整備されているため、大型液晶テレビは、単に教育放送を視聴するだけでなく、モニターとしても様々な授業に活用できます。



東京ヴェルディの元選手による出張授業『ユメセン』の際に活用した事例

東京ヴェルディの元選手による出張授業『ユメセン』の際に活用し、子ども達が紙に書いたものを実物投影機で撮り込み、モニターとしてテレビに映し出しました。

頂いたテレビを活用することで、今後の授業が益々魅力的になることでしょう。

この場を借りて御礼申し上げます。(庶務課)

④まつり塚(市民俗文化財)

富士電機構内にあります。工場の脇を通るかつての稲毛往還(稲城往還)の両側に築かれていたと伝えられますが、現在では片方は失われています。

この場所は旧平山村と旧豊田村の村境に当たり、かつては「道切り」の注連縄を張って外界から悪霊が入ることを防ぐ行事や、村内で流行った疫病をここから追い出す呪法が行われたと伝えられています。

今回の行事で訪れた四つの塚は、その作り手も、築造の目的も様々です。道端や工場の一角にたたずむモノ言わぬ塚ですが、それらに目を向けると、地域の歴史や、かつての人々のものの考え方が、少しずつわかってきます。

(文化スポーツ課)

を模して、江戸時代後期以降に作られました。



東京富士
構内のコニカミノルタ